

回覧

## 元気なコミュニティだより

二宮町百合が丘 2-29-6(2丁目会館) 090-5211-6891 <https://gen-comi.jp>**集会室利用<sub>まだ</sub>余裕****県営 CR、貸出開始 1 か月**

ゲンコミが、県営なのはなハイツ自治会(一石廣子会長)と連携して始めた県営コミュニティルーム(CR)の貸し出しから約1か月。9月末時点での申し込みは9月、10月とも各30件前後になった。お試し利用(初回限り無料)を経て連続利用を申し込むサークル、団体がある一方では、新施設の存在が十分知られていないという現実もある。県営 CR は「自立運営」を前提にしており、光熱費や管理諸経費を賄うには月間 50-60 件の利用が必要なため、新企画の催し・イベントなどを通じて広範な方々の利用を呼び掛けていく。



県営 CR の貸し出し対象は、集会室1(72 m<sup>2</sup>)、同 2(34 m<sup>2</sup>)。この 2 部屋を一体利用すると、①机設置スタイルで 70 人強が収容できる②日曜・祭日も利用できる(月曜休館)③隣接広場に 40 台前後の駐車が可能④集会室と広場(約 1,000 m<sup>2</sup>)を一体利用するイベントが可能一などの利点がある。すでに申し込み済みのサークルは健康体操、音楽、打ち合わせなど多岐にわたり、3 カ月先までの予約を入れたところも多い。当然ながらゲンコミの生涯学習、音楽活動などはすべての活動を CR に移している。



こうした中、9月21日(土)には、又木京子・藤雪会理事長(厚木市)を招いた移転後初の生涯学習

講座を開いた。又木さんは、「ホーム入りは最後の最後。今は自宅での一人暮らしを長らく続ける環境、条件がそろってきたことを忘れないでほしい」と語り、30人強の参加者と活発なやり取りを行った。

また、9月15日(日)には、百合が丘地区社協部会の共催を得て、「健康 commons 祭り」を開催。県営 CR と広場を使った大規模イベントには約 250 人の参加があった。キッチンカーが並び、音楽、体操、ダンス、福祉イベントが次々に披露され、普段は物静かな県営団地が大いに活気づいた。

**音楽祭チケット、販売中**

ゲンコミ音楽活動部会(三浦憲門部会長)主催の第8回やまゆり里山音楽祭(10月12日、ラディアン)のチケット(500円)販売が佳境を迎えています。昨年は当日分を含めて440枚を買っていただき、会場はほぼ満席になりました。今年は、9月末現在でまだ200枚ほどが未消化の状況です。

今年のプログラムでは、大野光彦氏(テノール)、桑田葉子さん(ソプラノ)、高寺真美さん(ピアノ)、ユースクラシックらの一流プロを中心に据え、やまゆり合唱団(前野昌利団長)がそれを包み込む形で登場するなど、工夫された構成になっています。 問い合わせは 三浦まで(080・5060・8082)